

高等研センター公開セミナーのご案内

民主党政権下の政策過程

主催：文部科学省科学研究費基盤研究（A）

「日本型福祉・雇用レジームの転換をめぐる集団政治分析」

（研究代表者 宮本太郎）

共催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター

民主党政権が掲げた「政治主導」は、政策過程をどのように変えたか。とくに官僚制と政治家の新しい関係とはいかなるものなのか。そして、菅内閣の誕生と民主党の政務調査会の復活で、さらに新しい変化が生まれるのであろうか。この研究会では、自民政権時代から立法過程の実務の中心にいて、数多くの政治家と交渉をしてきた衆議院法制局の橋幸信氏をお迎えし、政策過程の現場をめぐる臨場感ある報告をお願いする。

報告者：橋 幸信氏（衆議院法制局第二部長）

コメンテーター：山口二郎

（北海道大学大学院法学研究科教授）

コーディネーター：宮本太郎

（北海道大学大学院法学研究科教授）

日時：2010年7月8日（木）18：30～20：30

（開場 18：00～）

会場：北海道大学学術交流会館 第4会議室

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

※入場無料、事前申し込み不要

お問い合わせ

北大法学研究科附属高等法政教育研究センター 電話（011）706-4005